

モーリンググループ

\\ 新入社員のご紹介 //

Welcome to
Morimatsu



はじめまして さかもと すばる
阪本昂星 と申します。

【配属】 森松産業 製造部

【出身校】 愛知県立名古屋工科高等学校

【趣味】 読書、サイケリング

【初任給の使い道】 家族と焼き肉へ

【意気込みを一言】

私はまだ社会人成り立ての上、今年でやっと成人といった若輩者で皆様と比べれば、社会人としても人間としても経験不足で至らない点が多々あると思います。

ですが、少しでも先輩の皆様には追いつけるように努力を惜しまず、できる限りのことをやって行こうと思います。

ですので、どうか温かい目で見守っていただけたらと思います。

これからよろしくお願ひします。



社長よりひとことエール！

何年かぶりに10代の新人が入社しました！
阪本さんの社会人経験は森松で始まったばかりで、慣れない事も多々あると思いますが周りの先輩方にはどんどん質問して、自分の経験値を高めて行って欲しいです。
皆さんも温かく見守ってください。

後悔なく生きる

森 直樹 (代表取締役社長)

「行きたい場所に行かなかったこと」「自分のやりたいことをやらなかったこと」「美味しいものを食べておかなかったこと」これは、死を目にした人が後悔することの上位に挙がる事だそうです。人間、誰しも後悔の無い人生を生きたいと思っていますが、後悔しない生き方とは、1日1日、いや、一瞬一瞬を後悔しないように生きる事の積み重ねでしかありません。そして、企業の中においても仕事の一つ一つに後悔の無いようやり切る事。それは自分の主張を通すことではなく、お客様のため、自分の組織のためにもプラスになったか。またそれは大きな決断の場面において、後悔のない判断に達するまで考え抜く事が出来たかどうか。周りの空気に臆することなく、自分の意見を伝えることが出来たかどうか。日々自分自身と向き合い、問いかけ、最適な答えを探すことの連続です。自分が目指す目的地は、他人とは必ずしも同じではありません。そこを自分の中で明確にし、そこに向かって行かなければ当然目的地には辿り着けません。最後の最後で後悔となって表れるでしょう。また我々が森松として目指すところは、常に仕入先、得意先、そして森松と全体の利益になったかどうかです。常にその意識を絶やさずに日々取り組んでいきましょう。



驚きの買取り

光田 昭男（営業部）



知り合いが、20年以上前に購入したロレックスデイトナを、買取りのおたからやで査定をしたところ、20年前の購入金額が95万円だったが、査定価格が235万円の約2.5倍の高額査定になっていたのので、心動かされてしまい、色々な思いがあって手放すことを悩んだのだが、買取りをしてもらうことで、決断したことを楽しそうに教えてもらいました。その後、自家用車が変わりグレードアップしていました。思い出のある時計を手放す勇気に、思いきりが良く、参考にさせていただきます。ロレックス投資、聞いたことがありましたが、20年使用しても140万円の儲けですよ。調べてみたのですが、商品が品薄で正規店ではほとんど購入ができないようです。並行市場で流れる個体は凄まじいまでに高騰しているようです。その後、笑えてしまったのですが、20年以上も左手に取まっていた時計が無くなってしまうと寂しくなり、二十歳のお祝いで、購入した息子のロレックスを息子が使用していないのを確認して、息子からもらってきたと時計を見せてもらいました。奥様も自分のロレックスの査定額が気になり、査定を頼まれたので査定をされたようですが、高額にはならなかったようです。やはり需要が無いと高額査定にはならないようですね。高額ではありませんが、私のグランドセイコースプリングドライブも調べてみましたが、7年前に限定品（369本）を購入しており、なんと値段が2倍になっていました。買取りをしてもらうことはありませんが、2倍は、やはり楽しいものですね。

「還暦」を迎え、何事も素直に「感謝」

伊東 郁二（特販部）



先月、60歳の誕生日を迎え、「0歳の孫から92歳の母親」まで14名が集合し、「還暦祝い」をしてもらいました。長寿の祝い事は、3年前に90歳の母親に「卒寿の祝い」をしました。まさか自分が長寿の初心者である「還暦祝い」をしてもらうことになることは、想像もつきませんでした。また、我が子3人も少しは成長し、それぞれが家庭を持ち、それぞれが子供にも恵まれたことに、改めて感謝した日でもあります。自分が若かりし頃は、60歳前後の先輩諸氏の方々を見ると、「お年寄り・お爺さん」に見えたものです。信じられませんが、その私が60歳を迎えたのです。鏡の前で何度も何度も確認しましたが、鏡の前の自分はその様には見えませんでした。何なら「ワンチャンス」、「ドラマが起きそうな臭いがプンプン」感じましたので要注意です。「加齢臭」の話してはなりませんよ。時代と共に何もかもが変わりましたが、最大の変化は「平均寿命が延びた」ことでしょう。「還暦＝お年寄り」とは言えない時代になっています。「人生の区切り」＝「定年の年齢」も、「55歳、その後60歳、今は65歳、そして今後が70歳…」と変わっていくのでしょうか？『還暦』＝『第二の人生の始まり』と言われている昨今、「70歳：古希・77歳：喜寿・80歳：傘寿・88歳：米寿…」と長寿の祝い事が続きますが、「長寿を祝う」考え方では無く、「人生の節目を祝う」という形に、これもまた変わっていくのでしょうか。森松でお世話になり37年、営業で動き回らせていただき29年、特販部を設立していただき22年、時間だけを見ると私の人生、「立派」そうですね。「異業種営業」を29年やらせていただき、はっきりと言えることは、「会社の看板」である「森松の看板」は、「私個人の力量以上の力」を引き出してくれました。訳の分からない私を「信用・信頼」していただけました。そんな看板の力が後押しをしてくれ、今の私がいることに感謝です。森松のためになる「足跡」を残した上で、「山口百恵」の様に惜しまれながらマイクを静かに置く。格好良過ぎですかねえ…。

ふるさと納税

大和田 夕美 (営業部)



ご存じだと思いますが、平成20年に創設された制度です。始まった時は、受入額は約81.4億円、受入件数は約5.4万件でした。令和3年7月末に公表されたふるさと納税の現況調査結果では、令和2年度納税受入額は約6,725億円、件数は約3,489万件と、金額・件数は共に過去最高となり、納税額・利用者は毎年増え続けています。ふるさと納税の寄付手順①寄付金控除上限額を調べる - ご自身の寄付金控除上限額が分からない方は「かんたん控除額シミュレーション」でおおよその寄付金控除上限額を確認できます。②寄付をする自治体を決めて申し込む - 寄付のお礼として自治体の特産品や伝統工芸品といった地場産品、またその自治体で利用できる施設利用券など金額に応じて多彩なお礼の品が用意されています。③「お礼の品」と「寄附金受領証明書」が届く - 「寄附金受領証明書」は税金の控除手続きを行う際に必要です。④寄付金控除の手続きを行う - 税金の控除を受けるためには「確定申告」または「ワンストップ特例制度」の申請手続きが必要です。始める時は、確定申告なんて面倒だなとか、自分で出来るのかな?と考えながら、始めた事を思い出します。今年の確定申告で、申告方法が毎年バージョンアップしていると思います。パソコンで入力するのですが、入力項目も分かりやすくなり、今まで添付していた源泉徴収票も添付しなくても大丈夫になり、押印も必要なくなり、手続きがとても簡素化されています。又、利用したことはないのですが、郵送手続き以外に・ワンストップ特例制度・マイナポータル連携でオンライン手続き・e-Taxで手続き等があり、さらに簡単にできるようでした。また、コロナ禍で旅行にもなかなか行けないです。各自治体が返礼品として用意している各地の名産品を楽しむことで、少しは旅行気分が味わえるのも楽しみです。

職場の教養

則武 恵秀 (特販部)



森松ではコロナ対策により朝礼は各部署で距離を取って現在行っております。その朝礼内で一般社団法人倫理研究所から毎月発行されています職場の教養を輪読します。毎日過去その日に起こった歴史や出来事、季節に関することなど様々なタイトルでとても共感できたり、改めて考えさせられることなどがあります。今回、3月25日のことを紹介させていただきます。タイトルは【二つの生き方】です。内容は、運送の仕事をしている方で車内でラジオを聴いていたところ、「一瞬で幸せになれる方法があります」と、また「人には二つの生き方があります。それは『私は幸せになりたい』と『私は幸せだ』という生き方です。身近にある幸せをどれだけ感じるかが大切とありました。私自身後者に当てはまると思いますが、このコロナ禍が始まって今まで以上に幸せを感じる機会が減ったと思いました。コロナのせいで旅行に行けない、気軽に買い物にも行けないなどが先に来てしまうからです。ですが逆にコロナのおかげでと考えるとおうち時間が増えたことにより料理をする時間が増えたことなど小さな喜び、幸せはありました。今まで当たり前だと思っていたことが素晴らしいことだったことに気づかされました。今の時代も私なりに幸せを感じて過ごそうと感じた内容でした。



4/15～24の期間イオンモール大高にて開催されました、ODAKA いっぴん、はっけん Market に森松甲冑ミュージアムとして参加し、プラスチック甲冑の展示をさせていただきました。お立ち寄りいただきました皆様、誠にありがとうございました。森松を知らない方にもご興味を持っていただけたでしょうか？是非とも甲冑ミュージアム本館にもお気軽にお越しください！

韓流ドラマ

伊藤 雅典 (製造部)



最近、また韓流ドラマにハマってしまいました。以前冬のソナタが流行った頃、女優のチェ・ジュウが好きで、DVDを借り観ていましたが、熱が冷め韓流ドラマは観ていませんでした。しかし家内はずっと観ておりました。そんなある日、家内に「NHKの大河ドラマは好きなのに、韓国の時代劇には興味がないの」と言われ善徳女王を観たのが運の尽きでした。最初は録画しておいたものを、週末に観るというパターンで観ていました。全62話の長編物で、暇つぶしには長すぎるなと思っていましたが、話が進むにつれて、毎日会社から帰ると観ないと気が済まないという状態になってしまいました。ちなみに時代背景は、4世紀から7世紀にかけての三国時代（高句麗・百済・新羅）の新羅27代目女王の話です。今は、馬医という韓流ドラマ観ています。漢方医療だった時代に外科的治療を広め、宮廷医にまで上り詰めた医師の物語です。以前話題になった宮廷女官チャン・グムの誓いのイ監督が作った作品です。まだまだ韓流ドラマも捨てたものでもありません。歴史の勉強にもなりますよね。もし、学生時代に韓流ドラマを観ていたら、もう少し歴史の授業を楽しく受けられたかも知れませんね。